



新小松駅舎がオープンし、電車が高架の上を走り出し、駅東では新合同庁舎や新街区が出現しています。長い間エネルギーを注いできた努力の結果がいよいよ現実のものとして姿を現してきました。小松はまさに躍動の時を迎えたといえます。この気運に乗って、ぜひ魅力ある都市・小松を築き上げて欲しいと思います。

4回目を迎えたこまつまちなみ景観賞に、今年も70点に上る応募作品がありました。書類審査で14点を選び、現地審査を経て最終的に5点の入賞作品を決定しました。景観への配慮が行き届き、アメニティ度が高く、アイデンティティー豊かな都市・小松へとさらにステップアップしていくために、これからの市民の皆さんの心意気に期待しています。愛着が持て、自らが誇れるまちとなるようさらに頑張ろうではありませんか。

この1月から、景観の形成とまちづくりを推進する条例が設けられます。また、いくつかの地区計画やまちづくり協定も動き出しています。こうした着実な歩みとひたむきな努力を続けていけば、小松固有の自然と歴史と文化を下地に、都市性と現代性、文化性を併せ持った表情豊かなまちが形づくられていくものと確信しています。

こまつまちなみ景観賞 選考委員長 森 俊 偉

第4回（平成14年度）こまつまちなみ景観賞受賞物件

① 一山楼

小松市殿町2丁目17番地

施 主 作本 勲
設 計 ビブラ
施 工 木村建築

町家造りの家が立ち並ぶ街区にふさわしく、格子や白壁・瓦屋根を手際よく使用した造りは、隣接する街並みとの連続感のある景観づくりに寄与しています。サイン看板にも配慮と工夫が見られます。



② 北村 邸

小松市白江町タ194番地

施 主 北村 敏三
設 計 (株)キャス
施 工 (株)トーケン

農村集落の景観にフィットしたゆったりとした家構えがデザインされています。松の太木を残した広々とした前庭部分は、街路に開かれた小広場的な役割を果たし、集落内の街路景観にゆとりを与えています。

